

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成27年11月16日 午後 1時30分 開会 午後 3時23分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	吉川重雄 坂田よう子 竹内恵美子 関 威國 三澤龍夫 奥津勝子 二宮加寿子 清田文雄 玉虫志保実 片野哲生 高橋英俊 鈴木京子 渡辺順子 柴崎 茂
4 説明員	町側出席者 中崎町長 栗原副町長 藤家教育長 仲手川政策総務部長 大槻総務課長 加藤財政課長 吉川副課長兼管財係長 押田財政係長 二挺木都市建設部長 青木下水道課長 近藤副技幹兼下水道整備係長 岩本教育部長
5 職務のため出席した職員	局 長 増尾克治 書 記 波多野昭雄
6 協議等の事項	(1) 平成28年度予算の議会費について (2) 議会報告会の反省総括について (3) その他
7 その他	一般傍聴 なし

(1) 町長あいさつ

次の5件について、お知らせを受けた。

① 「旭化成建材株式会社の町有施設への関与」について

旭化成建材株式会社の杭工事に係る施工不良の問題を受け、町有施設について過去10年間の施工実績を調査したところ、該当はなかった。

また、同社が10月22日に国土交通省に報告した、過去10年間に施工した杭工事についても、町有施設に関しては該当がなかった。

◎主な質疑

なし

② 「訴訟の経過」について

平成19年度に学校法人東海大学に安価で町有地を売却したことは、当時の町長その他職員の不法行為であるとして、当該職員に対し、損害賠償等の措置を執るよう町長に求めた住民訴訟については、11月4日（水）に横浜地方裁判所による判決の言渡しがあり、訴えが却下とされた。

◎主な質疑

問： 訴えが却下された理由は。

答： 今回の訴えについては、適法な監査請求を前置したものができず不適法であるからこれを却下するというものであった。

③ 「埼玉県日高市と大磯町との災害時相互応援に関する協定の締結」について

11月8日（日）日高市役所において、災害時の物資の提供、被災者の受け入れや職員の派遣などの相互応援に関する協定を締結した。

◎主な質疑

なし

④ 「大磯町営駅前自転車駐車場竣工式」について

11月25日（水）午前10時から大磯町営駅前自転車駐車場において竣工式を実施する。

◎主な質疑

なし

⑤ 「行政評価」について

11月28日(土)午後1時から、役場本庁舎4階第1会議室において、大磯町行政評価委員による行政評価を実施する。

◎主な質疑

なし

(2) 町報告事項

① 12月議会に提出を予定している大磯町一般会計補正予算及び特別会計補正予算について

内容の説明があった。この報告事項は、12月定例会に提出される事項のため、事前審議にならない範囲での確認の質疑が1件あった。

◎主な質疑

問： 土地開発基金を繰り入れるにあたり、土地開発公社の理事会は開かれたのか。

答： 開催していない。基金繰り入れに土地開発公社の理事会は不要である。

② 指定管理者候補者の選定結果について

「大磯運動公園」、「大磯町立福祉センター」及び「鳴立庵」の指定管理者の候補者選定結果の説明があった。12月議会初日に議案として提出されるため、質疑はなかった。

◎主な質疑

なし

③ 平成26年度汚水枝管整備工事(その1-10)に係る工事請負契約解除後の経過について

平成26年度に発注した、汚水枝管整備工事(その1-10)の契約解除に伴う損害賠償協議において、契約の相手側により、神奈川県建設工事紛争審査会に「調停」の申請がなされ、当審査会から、調停の通知を平成26年10月28日付けで収受した旨の報告があった。

◎主な質疑

問： 平成26年度の場合だが、工事はどうなったのか。

答： 工事を2件に分けて再度入札を行った。工事は26年度中に竣工している。施工業者は、町内業者の(有)中越工務店及び(有)鈴木組であった。

問： 再発防止策として「設計図書等のチェック体制強化」とあるが、設計図書は職員がつくるものか、それとも業者委託か。

答： 工事設計書を外注し、その設計書をもとに施工条件明示書等を町で作成し、工事発注している。

問： 施工条件明示書（交通誘導員数）の記載を誤った理由は。

答： 転記ミスである。

問： 初めて聞く話だ。入札をやり直すなど許される話しではない。契約解除に至った経緯など一連の補足できるような書類を閲覧できるようにしてほしい。

答： 提示する。

問： この件に限らず入札結果の情報を議会へ提供してほしい。

答： 入札結果については、四半期ごとに議員ポストへ配布する。

問： 損害賠償請求額 840 万円に対する町の考えは。契約解除までの約 20 日間でそれだけの損害が発生したと考えるか。

答： その点については我々も疑問を感じている。算出根拠を提示していただいた中で、明確なものについてしか支払いはできない旨説明している。

問： 損害賠償額については、今後協議、調整を行うと理解してよいか。

答： 神奈川県建設工事紛争審査会から、受注者を申請人とする調停の申請がなされたとの通知を受けている。今後は、調停の手続きに入っていく。

問： 施工条件明示は町の誤りである。明示書を修正しそのまま行うという考えはなかったのか。

答： 入札は、正しい設計書に基づき、予定価格と最低制限価格を設けて執行しており、今回の入札では、条件明示の誤りにより失格者が 3 者出ており、落札者の決定方法を定めた地方自治法の規定に反する入札結果となったと認められることから、入札手続き全体を取り消した。

問： 新聞発表は行わないのか。

答： 本事案については、平成 26 年 11 月 14 日付けで記者発表を行っている。

問： 調停申請者は、大磯建設協会のメンバーではないのか。大磯建設協会とは普段から協力関係を維持している中で、なぜきちんと折り合いをつけることができなかったのか。

答： 今回名前があがっている 3 業者とも大磯建設協会に加盟している。町と損害に対する考え方がかなり乖離していたため、第三者機関である神奈川県建設工事紛争審査会を町が紹介した経緯がある。

問： 入札後、他の事業者から不服申し立ては出たか。

答： 不服申し立てはないが、入札後、情報公開請求に基づき、入札は無効ではないかとの話があった。

問： 契約自体を無効にしなればならなかったのか。契約を変更し行うことはできなかったのか。

答： 誤った条件明示の内容で最低制限価格を算出したところ、失格した業者の中に最低制限価格と同額になった参加者がいた。このことは、落札者決定に影響を及ぼすものであり、最低制限価格を設けた場合の落札者の決定方法を定めた地方自治法の規定に反する入札と認められることから、入札手続き全体を取り消し、締結した工事請負契約を解除することとした。

(3) 各委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

(4) 報告事項

①委員長等からの報告

○議会運営委員会の概要・・・奥津委員長

10/23 (12月定例会日程)

11/16 (提出予定議案/陳情の取扱い/その他 (28年度予算議会費))

○総務建設常任委員会の概要・・・片野委員長

10/27 (協議会) (総合計画後期基本計画及び人口ビジョン・総合戦略の進捗報告/まちづくり基本計画の改訂/日高市と大磯町の災害時相互応援に関する協定)

○福祉文教常任委員会の概要・・・二宮委員長

10/21 (協議会) (住民の健康づくりの意識や活動に関する報告/国民健康保健税条例の一部を改正する条例/駅前自転車駐車場整備事業)

11/13 (協議会) (保育所条例等の一部を改正する条例/朝の子どもの居場所づくりモデル事業の実施)

②監査委員からの報告・・・高橋監査委員

③農業委員からの報告・・・竹内委員

④10/20-21 全国町村議会議長会 議会広報クリニック・研修会

・・・清田議員、玉虫議員

⑤10/28 県町村議会議長会 10月役員会・臨時総会・県町村情報システム共同事業組合議会・・・吉川議長

⑥11/ 5- 6 監査委員セミナー・・・高橋監査委員

⑦11/ 9 県町村等監査委員協議会研修会・・・高橋監査委員

⑧11/13 県町村議会議長会 11月役員会・・・吉川議長

⑨その他

なし

(5) 協議事項

①平成 28 年度予算の議会費について

午前中に開催した議会運営委員会と同様の内容の説明が事務局からあり、全議員においても現時点での予算要求内容を了承した。

②議会報告会の反省総括について

11 月 15 日に開催した議会報告会について、各議員より次のような意見が出された。

◎主な意見

- 少人数に分かれての意見交換は、話しがし易かったという意見をいただいた。意見が言いやすい場で良かったと思う。
- 議会としての立場もあるが、答弁をもう少し具体的に説明できないものかと感じた。
- 陳情審査については、審査方法の流れを説明しただけで議論の経過が説明できなかった。
- 少人数に分かれての意見交換は、良い取り組みだったと思う。しばらく続けていきたいが、議会報告会全体の時間配分は考え直さなければならぬと感じた。
- パワーポイントで説明する際、議論も入れるべきといった意見もあった。報告内容が少なくなってもいいので、もう少し議会の意見を取り入れたものを作成してもいいのではないかと感じた。
- 同時選挙の答弁は質問の趣旨が汲み取れていなかった。適切な答弁ができればと感じた。
- 議会への投げかけの質問が多かった。議会運営委員会で取り上げ、話し合いを行い、議会だよりに掲載すれば議会報告会の内容も充実するのではないかと思う。
- 議論の経過についてきちんと説明ができるよう資料等準備が必要だ。
- 例えば高麗公衆トイレなど新たに作られたものについては、決算審査の前に現場を確認することが必要だと感じた。
- 「報告よりも意見交換を」、また、「議会報告会の回数を増やすべき」という意見があった。他町の議会報告会も意見交換会にシフトし始めており、議会報告会とは別に意見交換会を行いはじめた議会もある。
- 少人数に分かれての意見交換は凄く勉強になった。距離感も近くて言い易かったと思う。我々の成長の実にもなり町行政にも響くような議会になりたいと思う。

③その他

神奈川県町村議会議長会より、大磯町議会及び箱根町議会を全国町村議会議長会「町村議会表彰」に推薦する旨の連絡があったことを報告。

(6) 事務局からの報告

①町村議会議員研修会について

11月20日(金)に二宮町生涯学習センターラディアンにおいて、自治功
労者表彰及び研修会が県内の全町村議会議員を対象として行われる。当日
は公用車で会場に向かう。

②視察の受け入れについて

11月19日(木)に岡山県矢掛町議会が、平成28年1月13日(水)に茨
城県境町議会が議会活性化について視察するために来庁する。

③その他

- ・市町村アカデミー主催の研修参加について、申込みが定員に達しでき
なかつた旨を説明。
- ・「選挙管理委員会委員及び補充員の選出について」及び「大磯町議会会
議規則の一部を改正する規則」を12月定例会最終日に提案するにあた
り、臨時の議員全員協議会を開催する予定である旨を説明。

(7) その他

- ・次回の議員全員協議会は、12月16日(水)午後1時30分からの予定。

